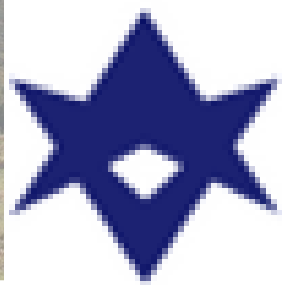


カーボン ニュートラル



モビリティ



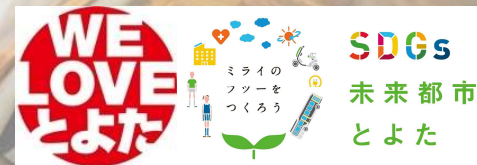
豊田市
Toyota City

“ミライのフツー”をつくろう！
取組事例集（2022年7月発行）

超高齢社会 （医療・介護）



自治体DX



【目次】 “ミライのフツー”をつくろう！ 取組事例集

豊田市の地域特性に合わせた独自の条例

- 豊田市まちづくり基本条例 . . . P 3
- 「W E L O V E とよた」条例 . . . P 3
- 山村条例（山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例） . . . P 3
- 森づくり条例 . . . P 3

先進技術や新たな仕組みを活用した課題解決の取組（主な事例紹介）

カーボンニュートラル

- （発想の転換：クルマは走る電源）とよた S A K U R A プロジェクト・最適配車アプリ . . . P 5～6
- （自動車産業の大転換期への対応）中小企業の①カーボンニュートラル化 ②デジタル化 支援 . . . P 7
- （再生可能エネルギーの地産地消）バーチャルパワープラント（VPP） . . . P 8
- （TOPICS）環境モデル都市からゼロカーボンシティへ . . . P 9

モビリティ

- （M a a S）超小型 E V を活用した地域課題解決 . . . P 1 0
- （自動走行）自動走行実証 . . . P 1 1
- （ドローン）消防・水管橋点検での実装・実証利用、ドローンの開発・製品化支援 . . . P 1 2
- （TOPICS）公共交通・公用車の Z E V 化 . . . P 1 3

超高齢社会

- （在宅療養の推進）地域リハビリテーション イノベーションセンター . . . P 1 4
- （地域共生社会）重層的支援体制（「8050問題」を始めとした複雑化・複合化した課題への対応） . . . P 1 5
- （フレイル予防）成果連動型・民間資金活用（SIB）による介護予防 . . . P 1 6
- （TOPICS）【実証事業】紙オムツの下水道受入れ社会実験 . . . P 1 7

自治体 D X

- （インフラ老朽化）衛星画像を活用した漏水調査（水道） . . . P 1 8
- （森林）森林業務におけるレーザ測量技術の活用 . . . P 1 9
- （防災）A I × S N S を活用した情報収集（防災情報の収集手段の多角化） . . . P 2 0
- （救急救命）救急救命活動のデジタル化（救急隊と救急医療機関の連携実証） . . . P 2 1
- （窓口利便性向上）キャッシュレス決済・セルフ申請窓口 . . . P 2 2
- （窓口利便性向上）A I を活用した総合案内サービス（AIチャットボット） . . . P 2 3
- （多忙化解消）I C T システムを活用した保育業務支援 . . . P 2 4
- （TOPICS）【実証事業】A I を活用した窓口業務 . . . P 2 5

豊田市の地域特性に合わせた独自の条例

豊田市まちづくり基本条例～共働によるまちづくりの推進～（2005年制定）

「自立した地域社会の実現を目指す」ことを基本理念として、自治の基本や市民参加の在り方についての考え方や方向性を明らかにするとともに、「市民の誓い」に示す市民像や総合計画等で立案した政策を実現するための方針や手続きなどの基本事項を定める条例

「WE LOVE とよた」条例～「わくわくする世界一楽しいふるさと」をめざして～（2017年制定）

市民が、自然、歴史、産業、文化、スポーツといった様々な魅力や個性あふれる地域が共存・交流するとよたの魅力を再認識するきっかけとし、とよたを未来に向けて希望溢れるふるさととして次世代へつないでいく役割を持つ条例

（基本理念）

- ・互いを尊重しながら、とよたの魅力を自由に楽しむ
- ・とよたの魅力を周りの人々に伝え、共に楽しむ
- ・互いに協力しながら、とよたをもっと楽しくする



山村条例～とよたの山村を次の世代に～（2021年制定）

（山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例）

- ・豊かな自然環境のほか、山村での暮らしの営みや感じられる幸せなど、市民の皆様と共通認識が持てるよう「山村の価値」を定義
- ・市の責務、市民・山村住民・事業者などがそれぞれの立場で取組を進められるように役割を明記
- ・必要な取組をとりまとめた「おいでん・さんそんプラン」に沿って施策を推進し、取組を毎年度公表する推進体制を規定



森づくり条例～100年先を見据えた森づくり～（2007年制定）

- ・東海豪雨（2000年9月）の被災体験を基に、人工林を始めとした森林の適正な管理に向けた基本理念等を定める条例
- ・条例に基づき、「森づくり構想」「森づくり基本計画」を定め、具体的な施策を推進



先進技術・仕組みを活用した 取組事例

カーボンニュートラル (防災)

とよたSAKURAプロジェクト (2014年～)

トヨタ自動車×トヨタホーム×市内トヨタ系販売店8社

災害時の電源確保やコロナ禍での避難所の密回避に向け、PHVやFCVといった車両の外部給電機能をふやす・つなぐ・つかえる仕組みづくりに挑戦

※PHVやFCVを走る発電機と捉え、車両から電源供給ができる外部給電機能の普及を図る



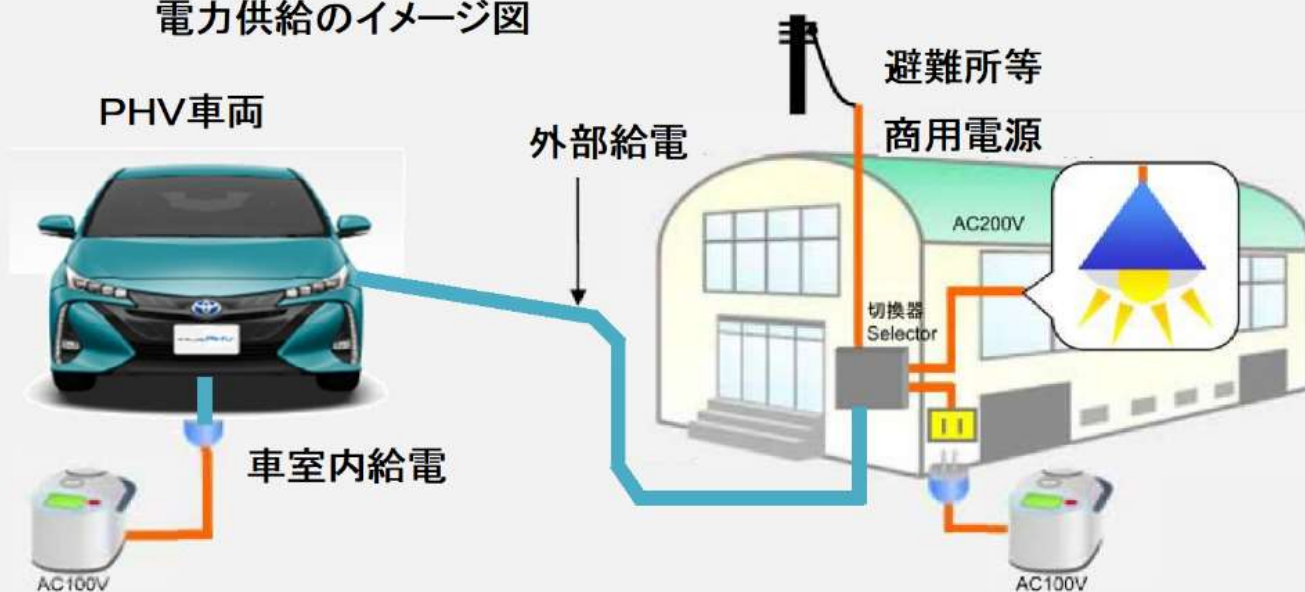
【次世代自動車 購入補助を実施】

【担当者コメント】

次世代自動車の環境面、防災面のメリットを広め、環境に優しく、災害に強いまちとなるようプロジェクト進めています。

桜の花びらが舞のように、豊田市での取組が全国へ、さらに世界へ広がることを目指していきます。

「外部電源供給システム」を使った 電力供給のイメージ図



豊田市役所
環境部、地域振興部、企画政策部



カーボンニュートラル (防災)

とよたSAKURAプロジェクト 最適配車アプリ (2020年～) トヨタ自動車×トヨタホーム×市内トヨタ系販売店8社

給電活動が可能な車両を最適配車するアプリを使用し、市や自動車販売店が保有するPHVやFCVを配車し、避難所などの電源を必要とする場所に電気を供給



【担当者コメント】

災害時を想定し、市内の資源を最大限有効活用するために実証を進め、実用化に向けた検証や課題の抽出を進めています。
災害発生時には、市内外で電動車を活用した支援ができるよう備えていきます。

豊田市役所
環境部、地域振興部、企画政策部



カーボンニュートラル (中小企業支援)

中小企業の

①カーボンニュートラル化 ②デジタル化 支援

再エネ発電設備の導入を検討されている中小企業者様へ

2022年度新設

豊田市カーボンニュートラル創エネ促進補助金

※2022年度～

①市内で製造業を営む中小企業者等が、再生可能エネルギー発電設備等（太陽光発電設備など）を導入するに当たり、その費用の一部を補助

補助率：補助対象経費の2分の1
上限額：3,000万円



デジタル化を検討中の中小企業者の皆様へ

2022年度版

豊田市デジタル化支援補助金

※2021、2022年度

②市内の製造業、建設業、運輸業を営む中小企業者を対象に、生産性の向上、電子商取引やキャッシュレス決済などの、デジタル技術を導入するに当たり、その費用の一部を補助

補助率：補助対象経費の2分の1
上限額：従業員数に応じて
100万円～500万円



【担当者コメント】
中小企業のカーボンニュートラル化やデジタル化を支援するため、補助金のほか、カーボンニュートラルや省エネに関して相談できる窓口の設置や「豊田市脱炭素スクール」を開講し、中小企業の経営層に対して、脱炭素経営のポイントや省エネ推進・再エネ導入方法を学ぶ場を提供するなど、様々な支援を行っています。

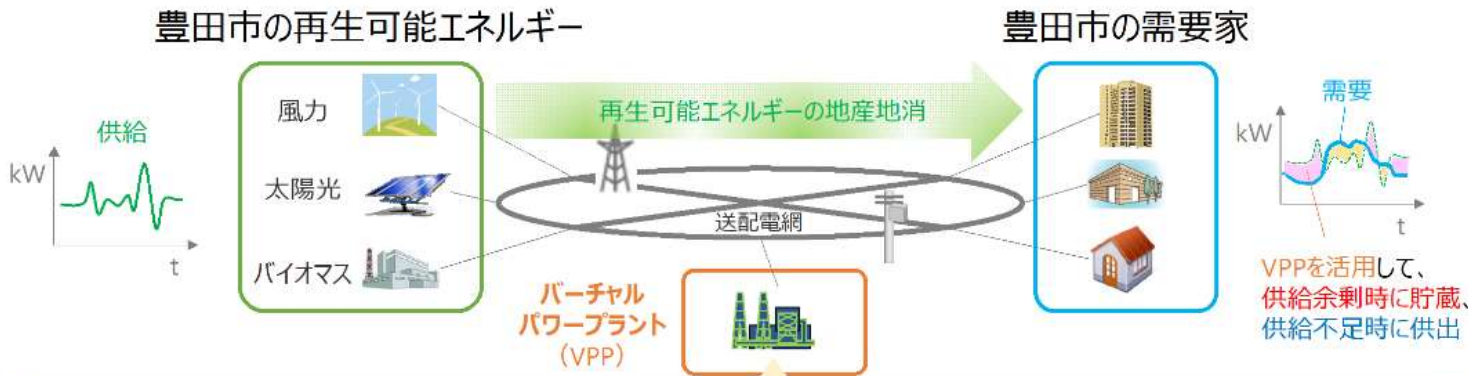
豊田市役所
産業部・環境部



カーボンニュートラル (再エネ)

バーチャルパワープラント (VPP) (2020年～) 中電×トヨタ×デンソー×東邦ガス×アイシンほか

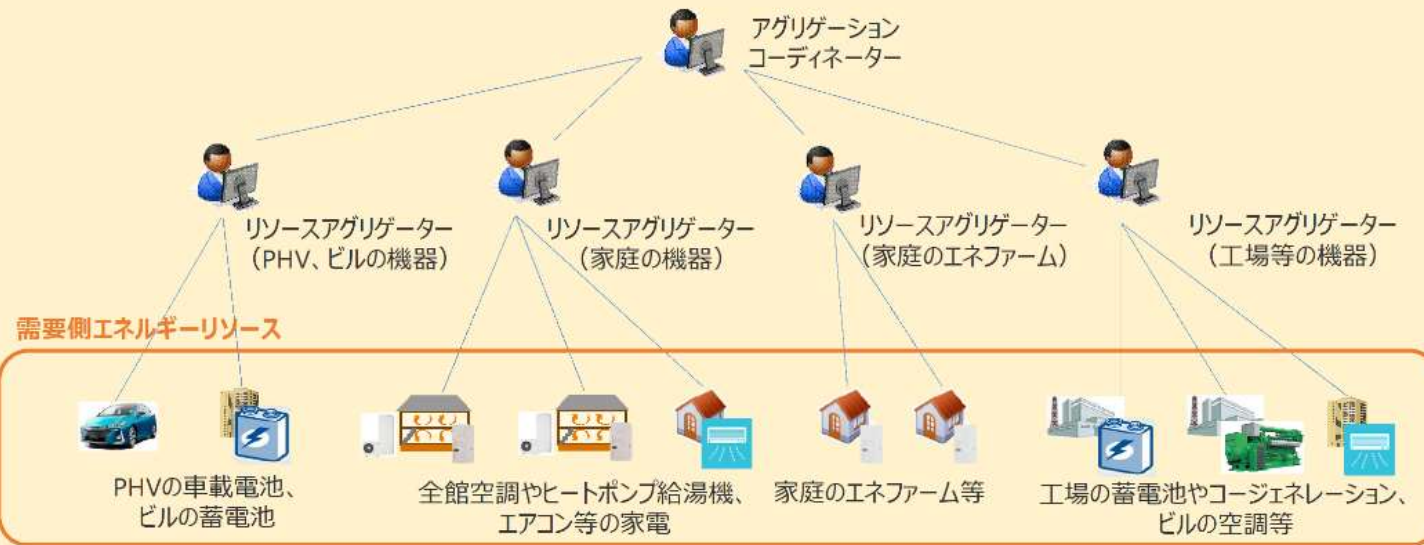
再生可能エネルギーの地産地消を実現するため、電力需給のバランス調整等を実施
※「バーチャルパワープラント」：風力・太陽光・バイオマスといった様々な発電設備をひとつの発電所のように制御



【市内ポンプ場の実装済】

【担当者コメント】
VPPは、再生可能エネルギーの地産地消に必要な技術です。
この取組により、地産地消比率を高めることができることが実証できました。
特に、電力使用量を制御することで節電（コスト縮減）も達成できました。

電力システムにつながる様々な需要側エネルギーリソースを、あたかもひとつの発電所のように制御する「バーチャルパワープラント」を構築し、再生可能エネルギーの地産地消を実現するため、電力需給のバランス調整や、電力系統安定化のための調整力に活用



豊田市役所
企画政策部、総務部、上下水道局



TOPICS

環境モデル都市からゼロカーボンシティへ

2009年の環境モデル都市選定から、創エネ・省エネ・蓄エネの取組により、エネルギー地産地消を推進

○エコファミリー支援補助金

(住宅編) ZEH、太陽光・HEMS・蓄電池の一体、燃料電池、蓄電池・V2H (上限5~20万円)
 (自動車編) PHV・EV※、FCV、超小型EV (上限3.5~32万円、※充電設備補助有)

○豊田市版環境減税

スマートハウスを始め、再生可能エネルギー発電設備や電気軽自動車(超小型EV)に係る固定資産税・都市計画税・軽自動車税を一部減免

○グリーン電力証書等の活用

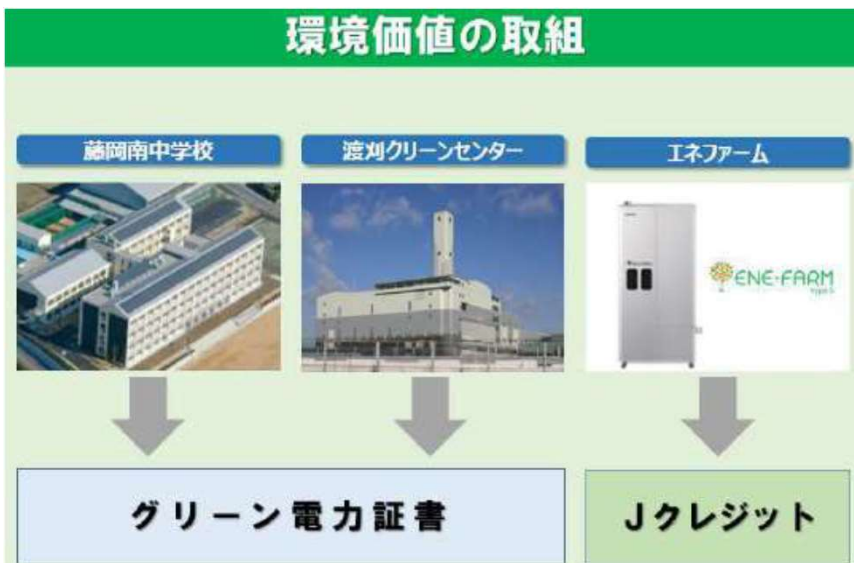
渡刈クリーンセンターでのバイオマス発電や、補助金を活用して市内の家庭に設置されたエネファームによるCO2削減の「環境価値」をグリーン電力証書やJクレジットとして市内企業へ販売することで、地域の脱炭素化を推進

【NEW】太陽光パネル・蓄電池 共同購入事業

普及拡大に向け、市民・事業者が共同購入することで、機器をお得に導入できる事業を開始



※主な再生可能エネルギー発電導入・関与施設 (2020年度末現在)



発電場所	種別	発電量
①住宅用太陽光発電補助	太陽光	51,000kW
②渡刈クリーンセンター	バイオマス・太陽光	6,800kW
③面ノ木風力発電所	風力	1,800kW
④小中学校校舎太陽光	太陽光	21校 708kW

モビリティ

M a a S : 超小型 E V を活用した地域課題解決

訪問診療：トヨタ×藤田医大×医師会×医療センター（2021年～）

デリバリー：豊栄交通×商工会議所×トヨタ（2020年～）

豊田市版M a a S をモビリティ・アズ・ア・ソリューションと定め、様々な地域課題解決に活用
狭隘道路の走行や夜間訪問を行う訪問診療での活用や、コロナでニーズが高まったフードデリバリー
に活用し、市内飲食店の支援を実現

【豊田地域医療センターに実装済】



【担当者コメント】

医療関係者からは、小型で狭い道路が走りやすく、夜の訪問も騒音がなくストレスがないと好評いただいております。フードデリバリーについても、コロナ禍で、突然のニーズの高まりに対し、迅速に対応し、飲食店の中には、“売り上げの10%超を宅配が占めた”と感謝の声をいただきました。



フードデリバリーが始まります

ティーカーゴ

T+CAGO

T+CAGO(ティーカーゴ)はウェブサイトから簡単に
お好みの料理のご注文が出来る新しいサービスです。

豊田市役所
企画政策部、福祉部



モビリティ

自動走行実証

- ①名古屋大学×豊田都市交通研究所（2017年～）
- ②新明工業×フジタ×トヨタすまいるライフ（2020年）

市内の様々な場所をフィールドとして提供し、自動走行の技術開発を支援
施行中の区画整理事業地内を走行路とするなど、走行路の確保に係る企業等の負担を軽減



①名古屋大学と実施した公道走行実証



②区画整理事業地内を活用した走行実証

【担当者コメント】
市内企業から、自動走行の実証フィールド提供のオファーがあり、より実空間に近いフィールドを提供するため、区画整理の事業中である区域を使用しました。
手続き等を簡略化でき、迅速に実証を行うことができました。

豊田市役所
企画政策部



モビリティ

ドローン

- ①消防用ドローン：プロドローン（2018年～）
- ②協業ネットワーク：SkyDrive（2021年～）
- ③水管橋点検（実証実験）：ミライトテクノロジーズ（2021年）

ドローンの活用機会の創出を図るとともに、ドローンの開発・製品化の加速を図る取組を推進
豊田市消防においては、水難救助や山岳救助、林野火災対応などへ対応するため、訓練を積むとともに、実際に現場で運用をしています。



【豊田市消防に実装済】



【担当者コメント】
消防において、ドローンの利用により、活動方針の決定が迅速にできるようになりました。
隊員が踏み込めない場所でもドローンにより状況確認を行うことができるようになるなど、円滑な活動につながっています。



豊田市役所
消防本部、産業部、上下水道局



TOPICS

公共交通・公用車のZEV化（2010年～）

基幹バス：燃料電池バスSORAを3台運用

公用車：PHEV 34台、FCEV 3台

超小型電気自動車C+podを9台運用

（購入7台、カーシェアリングサービスによる運用2台）

EV（電気自動車）、PHEV（プラグインハイブリッド車）、FCEV（燃料電池自動車）などの環境性能に優れた次世代自動車の導入促進や、カーシェアリングサービスの活用を始めとした、CASE・MaaSの社会実証・実装の促進により、次世代型の脱炭素交通システムを導入し、交通の脱炭素化を進めています。



超高齢社会 (医療)

地域リハ イノベーションセンター

藤田医科大×トヨタ×豊田加茂医師会×医療センター

先進技術を活用した地域リハビリテーションや在宅療養の推進を図るため、産学官医が連携し、豊田地域医療センター内に開設

【事業中：2021年11月オープン】

①ロボティクススマートルーム



自宅を模したスペースで、先進技術を活用した在宅でのリハビリや介護の体験ができます。

②モビリティトライアルルーム



加齢などによって身体能力が低下した場合でも、移動を便利にし、生活範囲を広げられる最新のモビリティの体験ができます。

体験を通じて自身の暮らし向上に役立つ先進機器の導入契機としていただくほか、得られた意見を基に、より快適な暮らしを提供できる機器の開発や技術の向上につなげます。

※①②共通 体験時間は午前9時30分～午後0時30分、専門職への相談や企業・団体の体験は要予約
(☎34・3000)

③サフロ健診コーナー



サルコペニア*1、フレイル*2、ロコモティブシンドローム*3の評価を行い、健康寿命延伸に向けた行動変容の促進やリハビリなどの必要な治療につなげます。

- ※1 加齢や疾患による筋肉量の減少
- ※2 加齢によって心身の機能が衰えた状態
- ※3 運動器の障がいにより移動機能が低下した状態

■実施日時 月・火・木曜日 午前8時30分、10時(各時間1人)

※要予約。所要時間は問診や結果説明を含め2時間程度

■受診料 4,950円

■予約開始日 11月8日(月)

■予約・問合せ 午前9時～午後4時に電話で健診センター

(☎34・3002、34・3003)



【担当者コメント】

ICTなどの最新技術の導入や関係機関との連携強化によって、在宅療養を始めとした選択肢を増やし、「地域」との関わりを大切にした「コミュニティ・ホスピタル」として、一人一人が自分らしく暮らせる地域社会の実現を目指していきます。



豊田市役所
福祉部

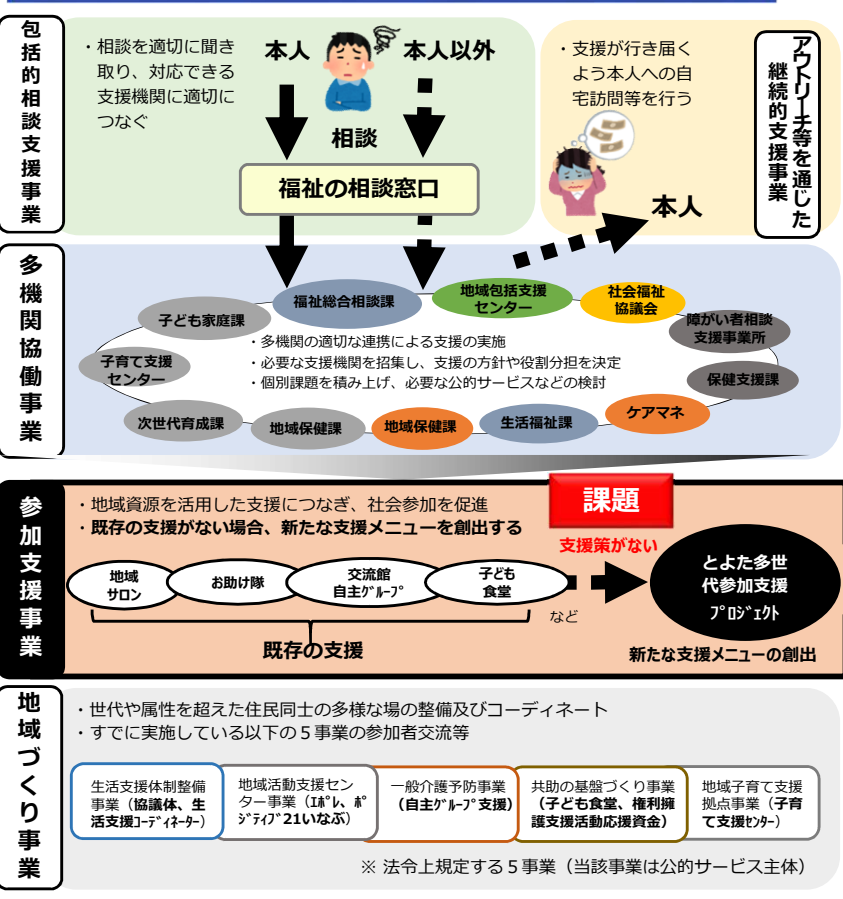
超高齢社会 (福祉)

重層的支援体制 (2021年～)

「8050問題」を始めとした複雑化・複合化した課題への対応

対応できる既存のサービスがない場合に、多分野の民間福祉事業所などで構成される任意団体「とよた多世代参加支援プロジェクト」へ個別サービスなどの支援協力を依頼。対象者に合った支援を創出・提供することで、困りごとの解消を図る。

重層的支援体制推進事業 本市の基本的な流れ



民間活力の活用による課題解決

⇒市内民間事業所で構成する任意団体『とよた多世代参加支援プロジェクト』と協定を締結

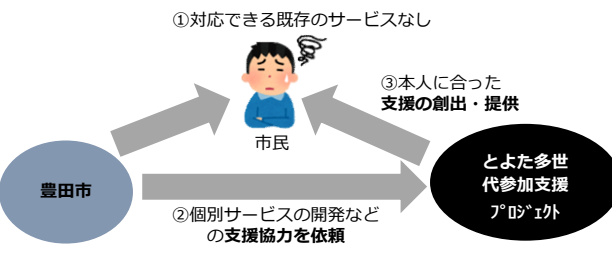
とよた多世代参加支援プロジェクト 概要

設立・・・令和3年3月24日(水)
 構成・・・4.5事業所 (高齢・障がい・子ども若者・困窮・農家・企業など) ※R4.5.1時点
 ①市町村レベルで属性を超えて福祉系の民間事業所が団体化するの全国初の取組。
 ②福祉事業所だけでなく、一般企業や農家など支援に関わってほしい事業者も参加。
 事務局・・・合同会社P-BEANS

活動内容

- 就労や生きがい、居場所の提供等、対象者に合った新たな支援メニューの創出。
- 上記のような取組のノウハウの共有と事業所間のネットワークを構築

- 民間活力を活用し、行き詰まっている支援の協力を依頼。(下図参照)
- 令和3年5月26日(水)の同プロジェクト総会にて協定を締結。
- 同プロジェクトに負担金400万円を拠出。



【担当者コメント】

全国的に、複雑化・複合化した困りごとに対し、対応する福祉サービスがなく支援が困難という課題を抱えています。本市では、民間事業所のノウハウを活用した新たなサービスを創出・提供することで、住民の課題解決を目指します。



豊田市役所
福祉部

※国は、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制の構築を目的として令和2年6月に社会福祉法を改正し、重層的支援体制整備事業を創設。令和3年4月から施行
 ※本市は平成29年度からモデル事業実施を進めており、全国に先駆けて体制の整備が進んでいることから、重層的支援体制推進事業と独自の呼称を使用。

超高齢社会 (介護予防)

成果連動型・民間資金活用 (SIB) による介護予防 NRS推進機構 × J A G E S × 市内外企業・団体

ソーシャル・インパクト・ボンド (SIB) と呼ばれる委託契約手法により、コロナ禍における高齢者に対し、介護予防につながるプログラムを積極的に提供
民間資金により、プログラムを先行して提供。市が設定した成果が報告されれば、成果に応じて報酬を支払う仕組みを採用。各事業者は自社のノウハウやアイデアを積極的に活用し、高齢者にプログラムを提供

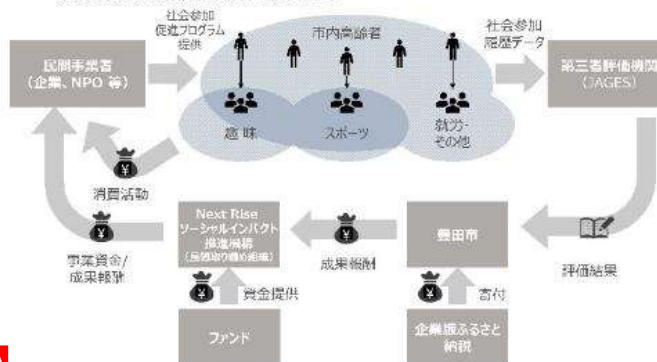
参画事業者の全体像

現在32の事業者が、約40のサービスを提供。事業者間の連携も起こりつつある



豊田市市民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」のスキーム

SIBの仕組みを活用し、豊田市より委託を受けたNext Rise ソーシャルインパクト推進機構が、民間取り纏め組織として本プロジェクトを推進



【担当者コメント】
市の保健師を始めとした人的リソースをコロナ対応に振り向けざるを得ない一方、高齢者の方は外出を控えられ、介護リスクが急上昇しているという課題を解消するため、市内外の事業者に協力いただき、コロナ禍でも介護予防活動を積極的に提供しています。



豊田市役所
企画政策部、生涯活躍部、福祉部、保健部、産業部

【事業中：2021年7月から5年間】

TOPICS

【実証事業】紙オムツの下水道受入れ社会実験 (2021年) 特別養護老人ホーム三九園×LIXIL×国土交通省

介護施設で使用された紙オムツをし尿と焼却可能な紙オムツ成分に分離し、分離されたし尿などは下水道へ排出し、紙オムツ成分は燃えるごみとして処理

使用済み紙オムツの臭気、保管、運搬に関する介護施設職員の方の負担軽減。使用済み紙オムツの減量・減容化（参考：重量3分の1、容積6分の1）により、ごみ処理のコスト低減を期待



【担当者コメント】

使用済み紙オムツの処理に関わる介護施設の方の負担増大が社会問題となっていると感じています。

この実験の結果が、介護の現場で働く人たちの負担軽減につながることを期待しています。

豊田市役所
上下水道局



自治体DX (インフラ)

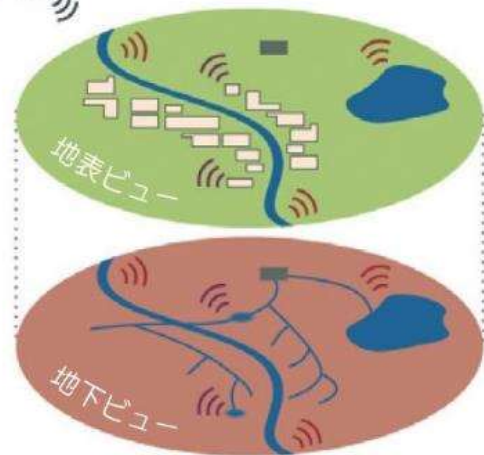
衛星画像を活用した漏水調査

- ① Utilis (ユーティリス) (現社名: ASTERRA) (2021年)
- ② 天地人×フジ地中情報 (2022年～)

衛星画像をAI解析することで、効率的に漏水箇所を発見する取組を進めています。2020年8月に全国で初めてUtilis社に委託し調査を行いました。なお、その結果を踏まえ、精度向上を図ることを目的に、2022年2月から(株)天地人・フジ地中情報(株)とともに実証実験を実施しています。



衛星画像解析では、
水道水と非水道水で反射特性が異なるので検出が可能



1. 衛星で特定エリアの画像を撮影
2. 衛星から電磁波を放射
3. 電磁波が湿った地上で反射
4. 水道水は非水道水とは異なる反射特性
5. 地理空間画像で反射特性を解析して漏水を識別



出典: GWI(GLOBAL WATER INTELLIGENCE) JUNE, 2018

漏水可能性区域
(直径200m)
を抽出

【担当者コメント】
インフラの老朽化はまったなしの課題です。水道管の老朽化に対し、効果的・効率的な予防保全を実施していくために、調査は不可欠です。特に、市域の広い豊田市において、効率化を図るため、実証を推進しています。

※実証実験の概要

- ・漏水可能性区域の判定区域を縮小 (直径200m → (目標) 直径100m以内)
- ・漏水的中精度の向上 (約3割 → (目標) 約6割)

豊田市役所
上下水道局



自治体DX (インフラ)

森林業務におけるレーザ測量技術の活用 (2021年～)

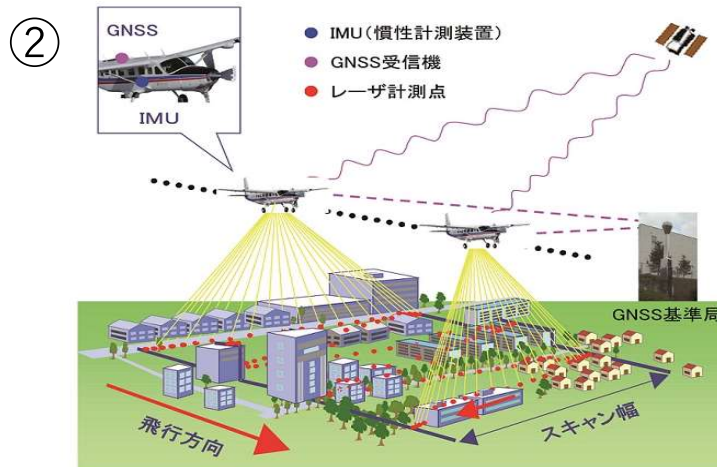
- ① UAV搭載型レーザスキャナによる森林境界測量の省力化
- ② 航空レーザ測量・地上レーザ測量を活用した林道設計及び災害復旧作業の省力化

① 森林整備に必要となる森林の境界測量作業において、UAV（小型無人ヘリ）搭載型レーザスキャナによる測量の実用性と省力化の効果を検証しました。

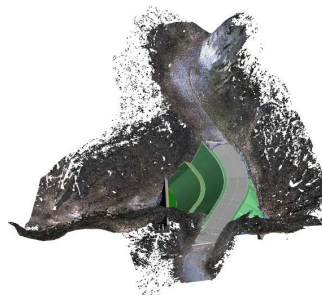
② 林道設計の測量において、航空レーザと地上レーザのそれぞれの特性を踏まえ、用途ごとにレーザ測量を使い分ける新たな設計手法を確立しました。



境界に設置した反射板の位置をUAV搭載型レーザスキャナで測位し、図上に表示



林道の線形検討においては、広範囲の測量データをもつ、航空レーザ測量を活用



災害復旧計画などの検討においては、現場の3D図面が作成可能な地上レーザ測量を活用

【担当者コメント】
範囲が広く、起伏に富んだ森林での測量作業は、危険も多く、労力がかかります。人手不足も進むなか、レーザ測量技術の積極的な活用により、省力化を進め、持続的な森づくりにつなげていきます。

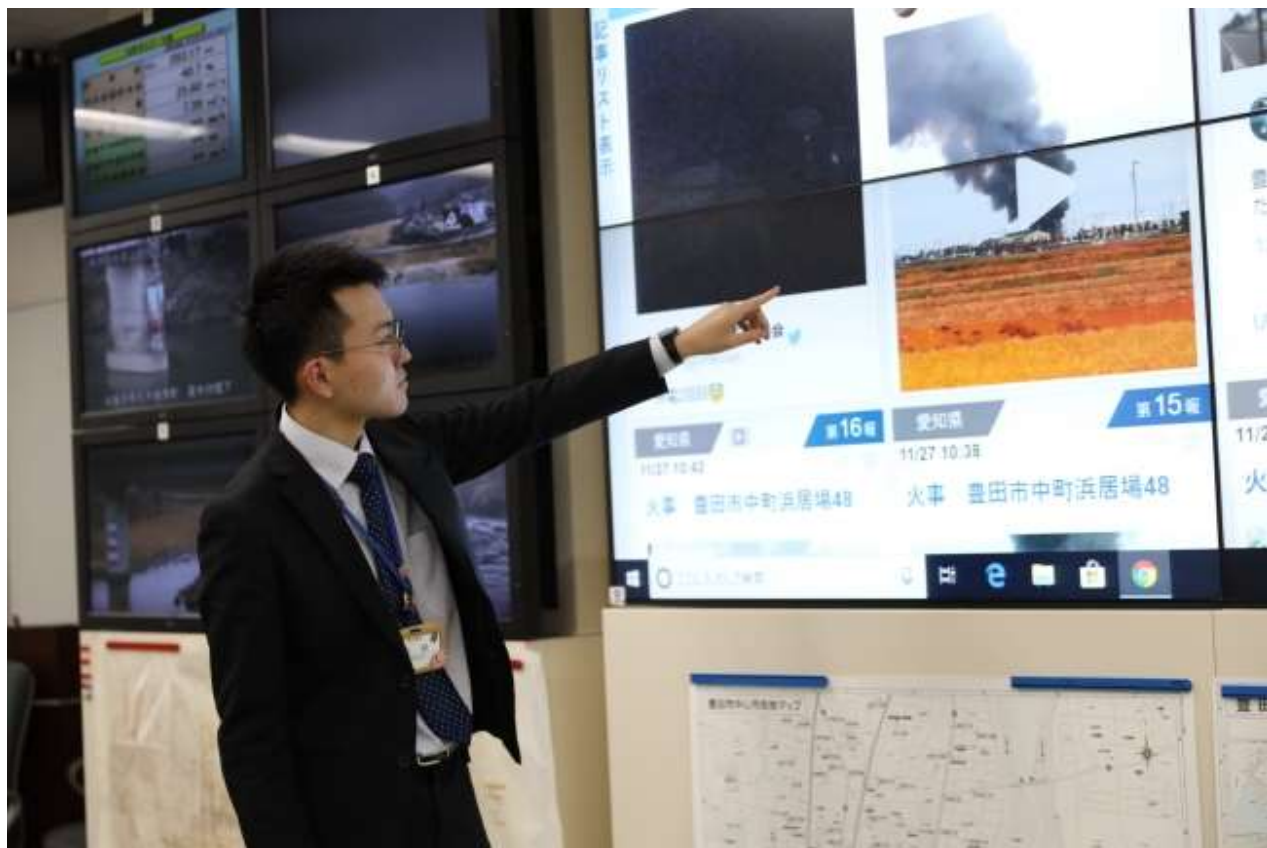
豊田市役所
産業部



自治体DX (防災)

AI × SNSを活用した情報収集 (2018年～) (防災情報の収集手段の多角化)

AI技術を活用して、SNSに投稿された情報を解析し、被害状況を可視化するシステムを導入し、迅速な被害状況把握により、適切な対応につなげています。



AI × SNSを活用した情報収集

【担当者コメント】

SNS投稿を本市の災害対応をはじめ、他自治体の被災状況の把握等に役立てています。
また、民間企業からAIを活用した台風の進路予想等の情報提供を受けて、災害対応に生かしています。
情報伝達手段の多角化についても、防災ラジオの導入をはじめ、積極的に取り組んでいます。



情報伝達手段の多角化
防災ラジオ



豊田市役所
地域振興部

自治体DX (救急救命)

救急救命活動のデジタル化 (2022年～) (救急隊と救急医療機関の連携実証)

TXP Medical (株) の救急医療情報システムを用いて、救急活動記録や情報伝達のデジタル化により、これまで電話で行っていた医療機関への患者情報を迅速・確実に提供

【担当者コメント】

システムの導入により、病院への正確な情報伝達と傷病者に対する応急処置、診察・治療の時間が拡充されることを検証しています。あわせて、帰署後の隊員の作業軽減を実現し、救急活動の質の向上につなげていきます。また、救命救急センターを含む重症救急患者の医療を担当する市内の病院すべてと連携して取組を進めており、救急活動のDXを加速していきます。

「夏のDigi田甲子園(※)」
全国大会に出場(内閣官房主催)

※2022年度創設。政府主催で「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けた地域の取組を募集し、優れたものを表彰する取組

豊田市役所
消防本部



これまでアナログが



救急現場での音声入力による記録作成や

自治体DX (窓口)

キャッシュレス決済・セルフ申請窓口 (2020年～)

市民課窓口における証明書交付手数料の支払いに、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済の利用が可能。

また、証明書セルフ申請窓口を設置しており、マイナンバーカードをお持ちの方が画面を操作することで、申請書の記入をせずに（ペーパーレス）証明書の交付申請が可能。

キャッシュレス決済 始めました!!!

クレジットカード

電子マネー

QRコード決済

すべての証明書が対象!

- ・住民票・印鑑証明書・戸籍謄抄本
- ・所得課税証明書・納税証明書など



【担当者コメント】

市民の利便性向上、金銭授受に係る職員の事務負担軽減のため、キャッシュレス決済を導入しています。証明書の発行窓口だけでなく、スポーツ施設などの公共施設への導入など、多くの窓口の利便性向上に向け、取組を進めています。



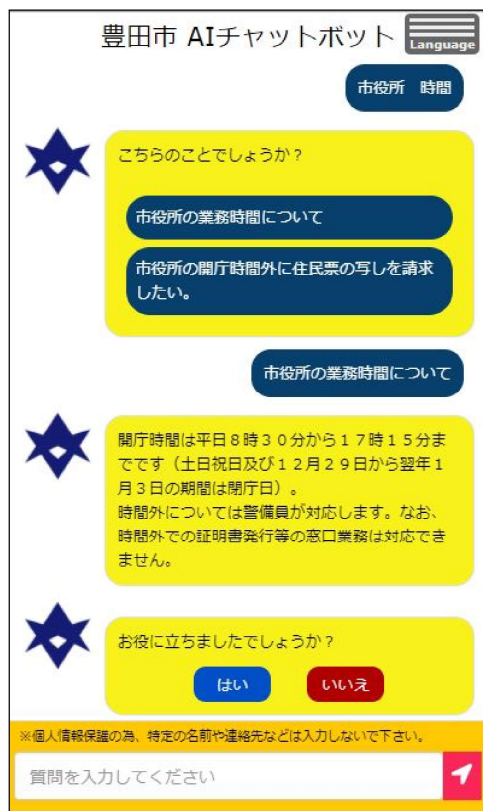
豊田市役所
総務部、市民部

自治体DX (窓口)

AIを活用した総合案内サービス (AIチャットボット) (2020年～)

市ホームページ上で利用者が入力する子育てや福祉、戸籍、税等の手続き方法や制度に関する問合せをはじめ様々な問合せに対して、AIチャットボットが自動的に回答を表示。これにより、インターネット上で24時間365日の問合せ対応が可能となり、市民サービスの向上に加え、職員の業務効率化を進めています。

AIを活用した総合案内サービス (AIチャットボット) イメージ



【担当者コメント】

AIチャットボットの導入により、市役所の時間外に問合せをしたい時や電話よりも気軽に問合せをしたい時に利用でき、市民の利便性向上と職員の業務効率化を進めています。問合せ内容を学習させることで、より精度の高い回答を提供できるよう、引き続き取組を進めていきます。



豊田市役所
総務部

自治体DX (負担軽減)

ICTシステムを活用した保育業務支援 (2021年～)

公立こども園60施設に、保育業務支援システムによる登降園管理、園児の健康管理、園と保護者間における連絡などのICT化のほか、キャッシュレスサービス導入による給食費や一時保育料などの電子支払い対応を進め、保育士の業務負担軽減や保育環境の充実を図っています。



タブレット (ICTシステム) 活用した健康管理や登降園管理

【担当者コメント】

ICTシステムの導入は、現場の保育士からの評価も高く、事務効率の向上や幼児教育・保育の環境の向上に効果があると見込めました。今後も、現場保育士の負担軽減や保育の可視化による保護者や地域との関係構築に向け、引き続き業務の見直しや更なる機能導入を検討しています。



キャッシュレスサービス (対応している支払い方法)



豊田市役所
子ども部

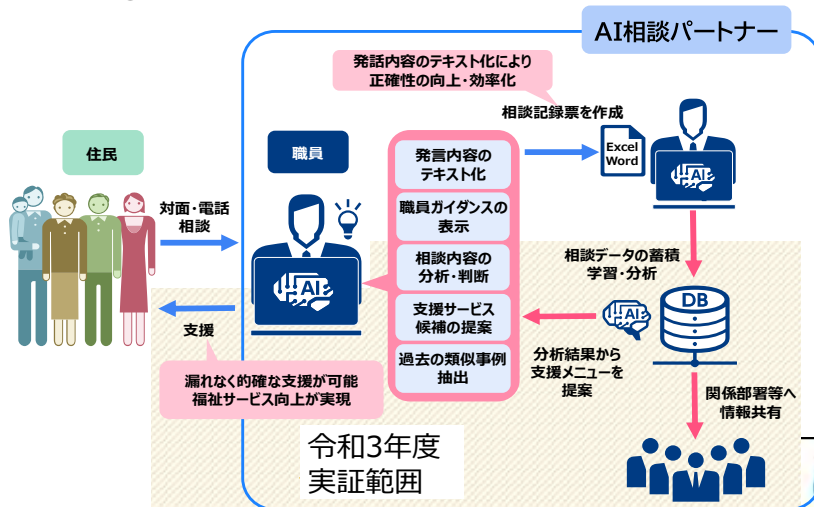
TOPICS

【実証事業】 AIを活用した窓口業務 (2021年～)

- ①三菱総研×アイネス
- ②NTTドコモ

- ①住民相談業務を支援する「AI相談パートナー」を導入し、職員個人に紐づく暗黙知を形式知化することで、窓口相談での福祉サービスの向上・効率化及び職員の事務負担軽減に取り組む
- ②スマホアプリ「健康マイレージ」を活用し、AIによる健康リスク検知するとともに、異変検知により、家族等に情報発信等を行う

①三菱総研×アイネス



【担当者コメント】

専門化、複雑化する福祉分野の業務について、職員スキルの向上とともに、スキルの横展開を図ることが重要と考え、暗黙知のデータベース化に取り組んでいます。高齢者においても、スマホ等を使いこなす方は年々増えており、情報通信技術の積極的な活用を図っていきます。

②NTTドコモ



豊田市役所
総務部、福祉部

注目情報 (文化・スポーツ)

FIA世界ラリー選手権

フォーラムエイト・ラリージャパン2022

2022年11月10日～13日



市内小・中学校等で、ラリーの魅力と交通安全の大切さを伝えるラリー教室を開催



<2022年度ラリー競技 豊田市での開催予定>

- ① 豊田しもやまラリー
6月18日(土)、19日(日)
- ② シロキヤラリー
10月1日(土)、2日(日)
- ③ フォーラムエイトラリージャパン2022
11月10日(木)～13日(日)
- ④ TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ
11月19日(土)、20日(日)

参合館北側及び
西側壁面ラッピング



豊田スタジアム



ラグビー国際試合

7月2日（土）【ラグビー】
リポビタンDチャレンジカップ2022
日本代表vsフランス代表



「EAFF E-1サッカー選手権2022決勝大会」 豊田スタジアムが会場に決定！

★主催：東アジアサッカー連盟（EAFF）



7月20日（水）	女子：中国	対	チャイニーズ・タイペイ
	男子：中国	対	韓国
7月24日（日）	男子：韓国	対	香港
	男子：日本	対	中国
7月27日（水）	男子：中国	対	香港
	男子：日本	対	韓国



J1リーグ&ルヴァンカップ 豊田スタジアム開催試合

2月19日（土） ヴィッセル神戸	6月26日（日） 鹿島アントラーズ
2月23日（水・祝） 清水エスパルス	7月10日（日） 清水エスパルス
3月6日（日） サガン鳥栖	7月16日（土） 川崎フロンターレ
3月20日（日） 柏レイソル	8月6日（土） 浦和レッズ
3月26日（土） 徳島ヴォルティス	8月19日（金） ジュビロ磐田
4月6日（水） 湘南ベルマーレ	8月27日（土） ガンバ大阪
4月10日（日） コンサドーレ札幌	9月17日（土） or18日（日） サンプレッチェ広島
4月13日（水） サンプレッチェ広島	10月1日（土） or2日（日） 横浜F・マリノス
5月3日（火・祝） 京都サンガF.C.	10月29日（土） FC東京
5月14日（土） セレッソ大阪	
5月25日（水） アビスパ福岡	

豊田市美術館



【美術館】

- ・交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー
2022年6月7日～9月4日
- ・ゲルハルト・リヒター展
2022年10月15日～2023年1月29日
- ・未生の美ー技能五輪の技（仮）
2022年10月15日～11月27日
- ・宇宙猫の瞬き（仮）
2023年2月25日～5月21日



ゲルハルト・リヒター展

豊田市民芸館

- ・藍染の絞り 片野元彦・かほりの仕事
（日本民藝館巡回展）
予定：2022年9月13日～12月4日
- ・（仮）全国郷土人形展
予定：2022年12月17日～2023年5月7日



藍染の絞り
片野元彦・かほりの仕事

鞍ヶ池公園ミライプロジェクト

※東京オリンピック・パラリンピックで使用された車両が運行中



「フォレストアドベンチャー・豊田鞍ヶ池」
(2022年3月30日オープン)



とよたの新しい博物館



2024 OPEN

豊田市に新しい博物館が開館します！



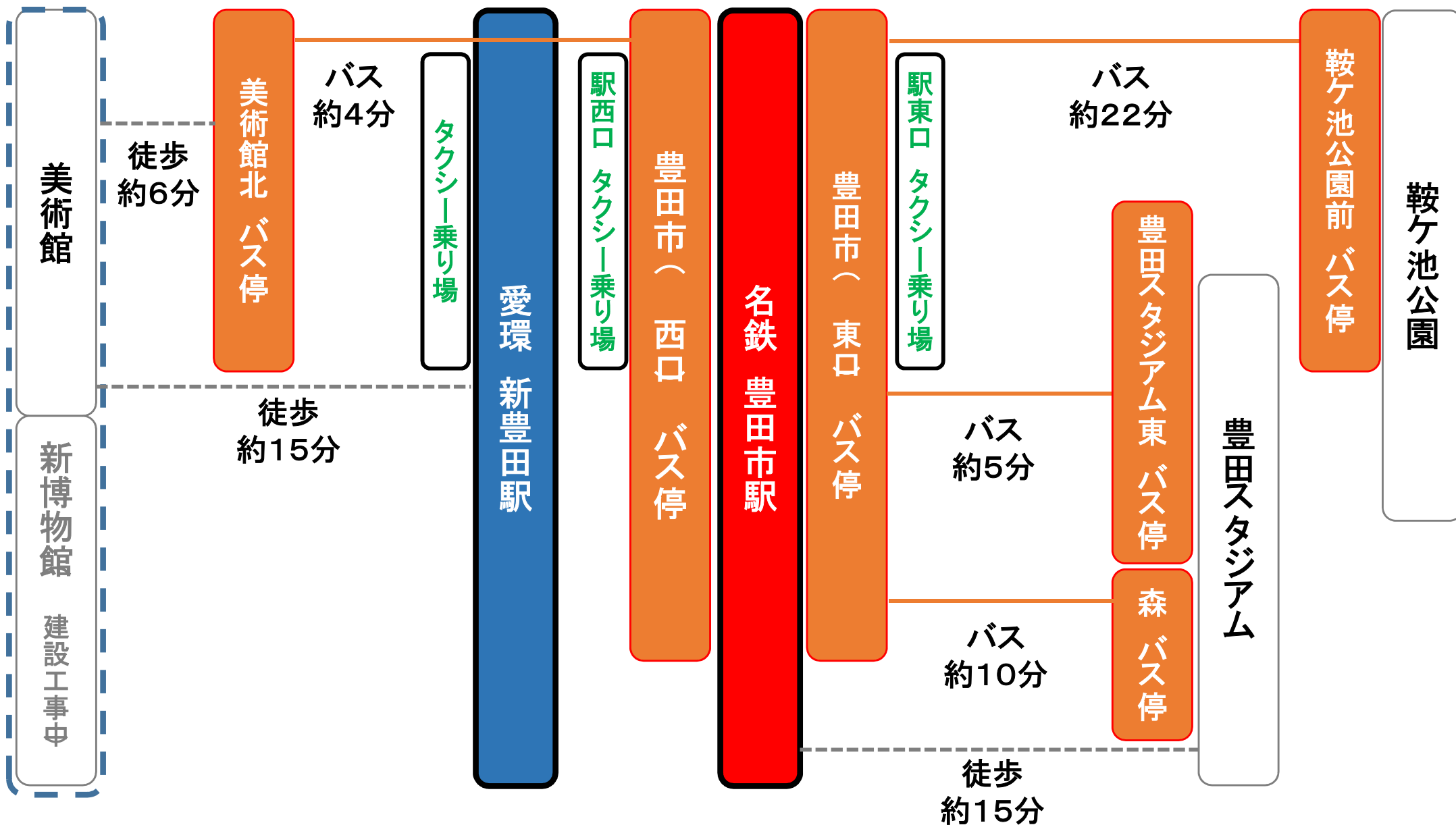
織田信長像(豊田市 長興寺蔵)



長篠合戦図屏風(浦野家旧蔵)



アクセス情報



豊田市内を走行する「とよたおいでんバス」「名鉄バス」「地域バス」の経路検索等に
必要な情報をGTF S（標準的なバス情報フォーマット）に基づきオープンデータ化し
ています。Google等での経路検索で、バスの時刻表・路線が確認可能です。

豊田市の観光マップ

拳母祭り



愛・地球博記念公園
ジブリパーク
(2022年11月1日開園)



小原四季桜



ツーリズムとよた
公式HP

足助の古い町並み



三河湖



【お問合せ先】 ※御視察の相談等、お気軽にお問合せ下さい
豊田市役所 企画政策部 未来都市推進課
(TEL) 0565-34-6982
(E-mail) hybrid-city@city.toyota.aichi.jp

御視察などで、御宿泊・お食事される時は、
豊田市公式観光サイト“ツーリズムとよた”で御検索ください



ツーリズムとよた
TOURISM TOYOTA



